

〔平成 27 年度決算の概要〕

【資金収支計算書】

(収入の部)

学生生徒等納付金収入は、少子化傾向が続く中ではありますが、学生募集活動により学生・生徒数が前年度と比べ増加し、予算比では 52 百万円増加、前年度比では 220 百万円増加の 4,121 百万円となりました。

手数料収入は、予算比では 3 百万円減少しましたが、入学検定料の増加により、前年度比横ばいの 93 百万円となりました。

寄付金収入は、予算比 17 百万円増加、前年度比 11 百万円増加の 17 百万円となりました。

補助金収入は、国庫補助金、大阪府補助金等の増加により予算比 207 百万円増加、前年度比 129 百万円増加の 1,200 百万円となりました。

付随事業・収益事業収入は、予算比 7 百万円増加、前年度比 1 百万円減少の 68 百万円となりました。

受取利息・配当金収入は、運用先の見直しなどにより金利収入が増え、予算比 18 百万円増加、前年度比 8 百万円増加の 56 百万円となりました。

雑収入は、退職金財団からの交付金収入の増加により、予算比では 50 百万円増加、前年度比 48 百万円増加の 120 百万円となりました。

前受金収入は、学生・生徒の入学者数が予算に比べて増加したものの、奨学金支給対象者が多かったため、予算比 84 百万円減少、前年度比 42 百万円増加の 853 百万円となりました。

その他の収入は、主として短大 7 号館建設に伴って発生した第 2 号基本金引当特定資産取崩収入 765 百万円、香芝クランド等の借地権処分に伴って発生した差入保証金回収収入 183 百万円により、予算比 25 百万円増加、前年度比 938 百万円増加の 1,118 百万円となりました。

その結果、収入の部合計は予算比 185 百万円増加、前年度比 682 百万円増加の 10,233 百万円となりました。

(支出の部)

人件費支出は、学生・生徒数の増加に伴う教員増による人件費増の影響で、また、勤続年数が比較的長い教職員の中途退職が多かったため、予算比横ばい、前年度比 241 百万円増加の 3,245 百万円となりました。

教育研究経費支出は、各部門における節減効果が大きく、予算比で 70 百万円減少しましたが、前年度比では 166 百万円増加の 1,210 百万円となりました。

管理経費支出も教育研究経費支出同様、各部門における節減効果が大きく、予算比 21 百万円減少しましたが、前年度比では 63 百万円増加の 592 百万円となりました。

施設関係支出は、予算比では 184 百万円減少しましたが、短大 7 号館建設、短大 6 号館改修工事関連等の支出により、前年度比 217 百万円増加の 826 百万円となりました。

設備関係支出は、短大・歯科衛生学科の歯科実習室改修にかかる備品購入、大学・教育学部設置にかかる備品購入等の支出により、予算比 7 百万円増加、前年度比 314 百万円増加の 453 百万円となりました。

資産運用支出は、退職給与引当特定資産繰入支出 16 百万円、収益事業元入金支出 50 百万円、第 2 号基本金引当特定資産への繰入 100 百万円の合計額であり、予算比 1 百万円減少、前年度比 520 百万円減少の 166 百万円となりました。

その結果、翌年度繰越支払資金は予算比 622 百万円増加、前年度比 261 百万円増加の 3,820 百万円となりました。

【事業活動収支計算書】

(教育活動収支)

教育活動収入は、学生生徒等納付金、経常費等補助金等の増加により予算比 263 百万円増加、前年度比 431 百万円増加の 5,553 百万円となりました。

教育活動支出は、教育研究経費及び管理経費の節減に努めたものの、人件費の増加により予算比 91 百万円減少、前年度比 438 百万円増加の 5,550 百万円となりました。

その結果、教育活動収支差額は予算比 353 百万円増加、前年度比 7 百万円減少の 3 百万円となりました。

(教育活動外収支)

教育活動外収支は、受取利息・配当金の増加により予算比 18 百万円増加、前年度比 8 百万円増加の 56 百万円となりました。

その結果、経常収支差額は、予算比 372 百万円増加、前年度比 1 百万円増加の 59 百万円となりました。

(特別収支)

特別収入は、現物寄付、施設設備補助金等をその他の特別収入に計上したことにより予算比で 84 百万円増加したものの、前年度比では 15 百万円減少の 84 百万円となりました。

特別支出は、主として香芝グラウンドの賃貸借契約満了により借地権を処分したこと及び高校第 2 号館撤去に伴い資産処分差額を計上したことにより、予算比横ばい、前年度比 373 百万円増加の 385 百万円となりました。

(当年度収支差額等)

基本金組入前当年度収支差額は、上記の通り学生生徒等納付金や経常費等補助金等の収入が増加したことと、経費の節減効果により、予算比 472 百万円増加、前年度比 387 百万円減少の△242 百万円となりました。

基本金組入額合計は、短大歯科実習室改修に伴う備品購入に係る第 1 号基本金への組入 95 百万円、第 2 号基本金への組入 100 百万円、除却した香芝グラウンドの借地権及び構築物に係る第 1 号基本金の減少△107 百万円などがあり、予算比 435 百万円減少、前年度比 608 百万円減少の 293 百万円となりました。

その結果、当年度収支差額は予算比 908 百万円増加、前年度比 222 百万円増加の△535 百万円になりました。また、基本金取崩額が 91 百万円あり、翌年度繰越収支差額は予算比 999 百万円増加、前年度比 444 百万円減少の△1,996 百万円となりました。

【貸借対照表】

資産の部において、有形固定資産は、短大 7 号館建設による建物の増加 1,072 百万円、高校 2 号館撤去による建物の減少 420 百万円などにより、前年度末比 531 百万円増加の 13,039 百万円となりました。

特定資産は、第 2 号基本金引当特定資産を短大 7 号館建設により 765 百万円を取崩し、今年度においても 100 百万円を計上したこと、また、退職給与引当特定資産が 16 百万円増加したことにより、前年度末比 649 百万円減少の 5,709 百万円となりました。

その他の固定資産は、香芝クランドの処分による借地権及び差入保証金の減少等により、前年度末比 255 百万円減少の 527 百万円となり、固定資産合計では前年度末比 372 百万円減少の 19,275 百万円となりました。

流動資産は、現金預金の増加等により、前年度末比 253 百万円増加の 3,997 百万円となりました。

その結果、資産の部合計は前年度末比 120 百万円減少の 23,271 百万円となりました。

負債の部は、主として未払金と前受金の増加により前年度末比 121 百万円増加の総額 2,109 百万円となりました。

純資産の部において基本金は、短大 7 号館建設による組入等により第 1 号基本金が 867 百万円増加し、短大 7 号館建設による第 1 号基本金への振替等により第 2 号基本金が 665 百万円減少し、前年度末比 202 百万円増加の 23,159 百万円となりました。

繰越収支差額（翌年度繰越収支差額）は、事業活動収支計算書の当年度収支差額等で述べたように、前年度末比 444 百万円減少の△1,996 百万円となりました。

その結果、純資産の部合計は前年度末比 242 百万円減少の 21,163 百万円となりました。

以 上